

9 2025
令和7年
月号

No.570



県民 だより

毎月5日発行（1月のみ1日発行）

目次

- ・若者の仲間づくり支援事業
ちば部 始動 **2面**
- ・ちょっとの工夫で防ごう「認知症」 **3面**
- ・秋のお出かけをお得に楽しもう！
ほか **4～5面**
- ・県民ひろば **6～7面**
- ・どこ行く？／旬のレシピ／
ちばの星／クイズ&プレゼント **8面**

千葉県庁

代表電話 043-223-2110

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp>

編集・発行／千葉県総合企画部報道広報課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
☎043-223-2241 ㊚043-227-0146

（県人口） 6,278,102人（対前月比85人増）

男3,108,154人／女3,169,948人

（世帯数） 2,950,508世帯（対前月比2,196世帯増）

〔令和7年8月1日現在〕

掲載の情報は令和7年8月25日（月）時点のものです。



ちば県民だより
ホームページ
マチイロ



千葉県広報X



千葉県公式
LINE



千葉県防災X

今月のプレゼント

生産量日本一！
千葉の梨！詳しくは
8面へ



20人



ちば部
チーバくん

あなたが探している人も、
きつと、あなたを探してる。

ちば×趣味で、
出会おう。



知事メッセージ

県民の皆さまへ

行政の少子化対策といえば「婚活イベントの開催」や「婚活アプリの開発」がよく挙げられます。確かに行政だからこそその安心感はあると思いますが、出会い、知人・仲間・友人としての交流などがあって交際に発展し、結婚に至るケースが多いことを考えると、私たちはもっと若者の出会いと交流を応援する必要があるのではないのでしょうか。

そこで、県では県庁の若手職員によるプロジェクトチームを作って議論してもらい、かつ県内在住の若者の意識調査も行った結果、「婚活とは呼称しない、異業種交流会などの出会いイベントの開催」を求める声が多いことが分かり、今年度から取り組みを開始することとしました。

コロナ禍によって若者もさまざまな活動を制限された結果、本来はあったはずの出会いの機会も大幅に減少し、大学などに進学してもサークル活動もできなかった人たちも多く存在します。

調査において「結婚相手との出会いのきっかけ」は「職場や仕事の関係で」の次に「友人や知り合い

を通じて」が多いことから、友人・知人を作る機会が少ないことは結婚相手に巡り合う機会も少ないということになります。

また、厚生労働省が実施した意識調査から、「こころの健康に良い影響がある存在」として、家族に加え、学校や職場以外の趣味・社会活動における友人・知人が多いということも分かりました。若者の出会いを応援することは交際や結婚を目的とするものだけでなく、友人や仲間が増えることで悩みを共有できる相手が増え、精神的な支えにもなります。

今後、県では官民を挙げて、さまざまな趣味を通じて若者が出会い、交流する場を増やしていきます。千葉県、日本の未来を担う若者を応援するため、皆さまにもご理解いただきたいと思ひますし、周りの若者に声掛けなどいただければ幸いです。

千葉県知事 くまがい としひと 熊谷俊人